

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-028170

(43)Date of publication of application : 02.02.1999

(51)Int.Cl.

A47K 3/12
A63B 31/00

(21)Application number : 09-202313

(71)Applicant : ICHIKOU:KK

(22)Date of filing : 12.07.1997

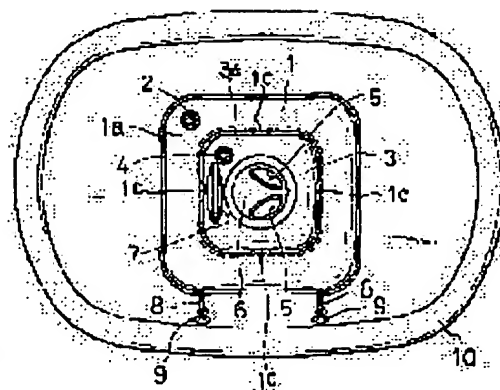
(72)Inventor : MATSUOKA HIROMITSU

(54) BATHING ASSISTING IMPLEMENT FOR INFANT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable the safe supporting and bathing of an infant by providing the implement with a floating section which has an enclosing inside wall surface of a proper depth around the infant and a bottom seat to be sit with the infant projecting the feet downward and floats the implement up to the water surface while maintaining the seating posture.

SOLUTION: A main float 1 is formed by welding the outer peripheral edges and inner peripheral edges of two vinyl sheets and a suction and discharge pipe 2 with a closing valve is mounted at the required point of an upper peripheral surface 1a. A sub-float 3 is formed in the same manner as the main float 1. The upper peripheral surface 3a thereof and the lower peripheral surface of the main float 1 are connected and linked by means of a connecting band 1c of the main float 1 and the connecting band of the sub-float 3. The sheet bottom seat 6 provided with openings 5, 5 is disposed by connecting its peripheral edge to the peripheral surface of the bore of the sub-float 3. A back rest 7 is disposed in connection to the upper peripheral surface of the sub-float 3 and anchor ropes 8 connected with suction cups 9 which may be sucked to a bathtub 10 at the front end are installed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-28170

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月2日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 7 K 3/12

A 4 7 K 3/12

A 6 3 B 31/00

A 6 3 B 31/00

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-202313

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月12日

(71) 出願人 000139942

株式会社一見

東京都江戸川区小松川3丁目4番1-501号

(72) 発明者 松岡 広光

東京都江戸川区小松川3丁目4番1-501号 株式会社一見内

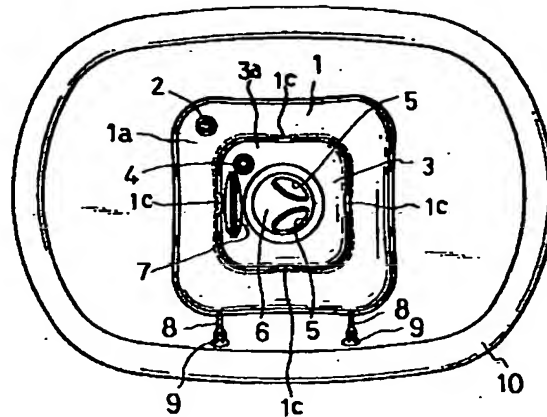
(74) 代理人 弁理士 増田 政義

(54) 【発明の名称】 乳幼児用入浴補助具

(57) 【要約】

【課題】 この発明の乳幼児と保護者であるお母さん、お父さん等と一緒に浴槽に入ることなく、乳幼児を入浴させることができる乳幼児用入浴補助具の提供。

【構成】 乳幼児を座り姿勢態に支える背当面と、その背当姿勢を維持可能な少なくとも背当面と接続して囲ぎようする左右内側壁面部と、足を下方に突き出して座る底座面と、背当面と左右内側壁面と一体にその姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とからなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 乳幼児を中心に適宜深さの囲ぎよう内壁面と、足を下方に突き出して座る底座を具え、座姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とからなることを特徴とする乳幼児用入浴補助具。

【請求項2】 乳幼児を座り姿勢態に支える背当面と、その背当面と接続して囲ぎようする左右内側壁面部と、足を下方に突き出して座る底座と、背当面と左右内側壁面部と一体に、乳幼児の姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とからなることを特徴とする乳幼児用入浴補助具。

【請求項3】 外端に吸盤を連結した係留索を浮力部の外面に配置していることを特徴とする請求項1または請求項2記載の乳幼児用入浴補助具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明の乳幼児と保護者であるお母さん、お父さん等と一緒に浴槽に入ることなく、乳幼児を入浴させることができる乳幼児用入浴補助具に関する。

【0002】

【従来の技術】乳幼児は、新陳代謝が激しく、体を清潔にするため、入浴を欠かせない。大きな浴槽では、保護者と一緒に入ることが、全てが行き届き安全である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】寒い時期には、乳幼児と一緒に入浴すると、乳幼児の着衣が先となるため、保護者は裸でいる時間が長くなり、湯冷めを起しやすい。そこで、乳幼児だけを浴槽に入れるが、保護者は、浴槽の外にいるため、乳幼児と保護者の体が離れ、洗い場から手を横に長く伸ばして支える不安定な状態での入浴になる。

【0004】この発明は、保護者が浴槽に入ることなく、乳幼児を安全に支えて入浴させることを目的になされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】乳幼児を中心に適宜深さの囲ぎよう内壁面と、足を下方に突き出して座る底座を具え、座姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とからなることを特徴とする乳幼児用入浴補助具にある。

【0006】乳幼児を座り姿勢態に支える背当面と、その背当面と接続して囲ぎようする左右内側壁面部と、足を下方に突き出して座る底座と、背当面と左右内側壁面部と一体に、乳幼児の姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とからなることを特徴とする乳幼児用入浴補助具としてもよいものである。

【0007】外端に吸盤を連結した係留索を浮力部の外面に配置して、その移動を制限するようにしてもよいものである。

【0008】

【発明の実施の形態】乳幼児を座り姿勢態に支える背当面と、その背当面と接続して囲ぎようする左右内側壁面部と、足を下方に突き出して座る底座と、背当面と左右内側壁面部と一体に、乳幼児の姿勢を維持して水上に浮上させる浮力部とから構成すると共に、その適所の外面に、外端に吸盤を連結した浴槽係留索を配置してなる乳幼児用入浴補助具。

【0009】

【実施例】以下、この発明の乳幼児用入浴補助具を実施の一例である図面により説明すると、1はメインフロートで、所要の環状に裁断された2枚のビニールシートの外周縁と内周縁を溶着し、内部を気密に設けると共に、その上部周面1a所要箇所に閉鎖弁付きの吸排気管2を取付け、内部に空気を充填と排出が可能にしている。

【0010】3はサブフロートで、前記メインフロート1と同様に内部を気密に設けると共に、閉鎖弁付きの吸排気管4を取付け、内部に空気を充填することと排出することが可能になるように設け、その上部周面3aと前記メインフロート1の下部周面1bとを、メインフロート1の接続バンド1cおよびサブフロート3の接続バンド3cにより接続して接続し、かつ乳幼児の足を外に出せる開口5、5が設けられるシート底座6を、その周縁6aをサブフロート3の内径周面3bに接続してなるものである。

【0011】7は背当てで、前記下部をサブフロート3の上部周面に接続して空気を内部へ流通可能に設け、空気充填使用時にサブフロート3からメインフロート1の内周面に所要角度の傾斜支持面を配備する。

【0012】8は係留索で、その基端をメインフロート1の外周面の適所に接続し、反対の先端に吸盤9を連結している。10は浴槽である。

【0013】上記実施例では、フロートをメインフロート1とサブフロート3に構成したが、メインフロート1だけから構成してもよく、この場合は、図示しないが、上記実施例と同様に、乳幼児の足を外に出せる開口5、5が設けられるシート底座6を、メインフロート1の下部周面に、その周縁を接続する。この場合の実施例においては、背当て7は、上半部をメインフロート1と接続し、そのメインフロート1の内部と空気を流通可能に設け、下部をフリーとしてもよいが、例えば、シート底座6に接続し、空気充填使用時にメインフロート1の内周面に所要角度の傾斜支持面が配備されるようにしてもよいものである。

【0014】この発明の乳幼児用入浴補助具は、上記のように構成されるものであるから、乳幼児の入浴にあたっては、先ず内部に空気を充填して膨脹し、これを浴槽に浮かべ、これに、乳幼児を、その足を開口から外に出して乗せるものである。保護者は浴槽の外に居て、お湯に入れることができ、また乳幼児の体を洗うことができるのである。係留索をフロートの一側前後の2箇所に付

3

4

設しているときには、その係留索の吸盤を浴槽の内壁面に吸着して固定すると、浴槽の内壁面から離れて移動することがなく、安心して入浴させることができる。

【0015】

【発明の効果】この発明の乳幼児用入浴補助具は、保護者が浴槽に入ることなく、乳幼児を安全に支えて入浴させることができ、着替えも迅速に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の乳幼児用入浴補助具の一実施例を示す平面図である。

【図2】同じく、浴槽の一内側壁面に吸盤を吸着し、係留して入浴補助具として使用中の説明図である。

【符号の説明】

1 メインフロート

1a 上部周面

1b 下部周面

1c 接続バンド

2 吸排気管

3 サブフロート

3a 上部周面

3b 下部周面

3c 接続バンド

4 吸排気管

5 開口

10 6 シート底座

6a 周縁

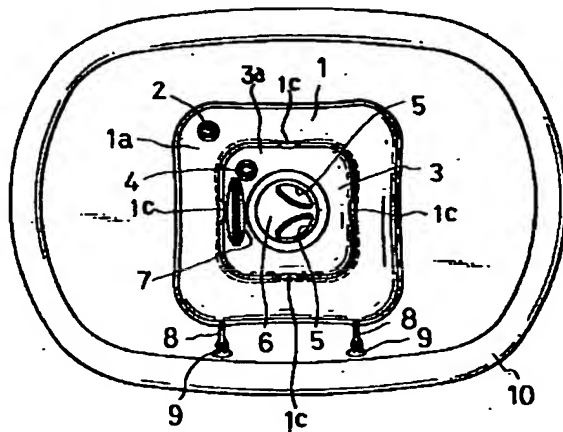
7 背当て

8 係留索

9 吸盤

10 浴槽

【図1】



【図2】

